



中河 つる子 議員

生ごみ減量化の推進を

町長 情報収集や周知を行い、支援等についても検討する

町長 ごみの排出量について、1月末現在の計画収集による可燃ごみは、平成30年度が約939トン、令和元年度が約837トンで、100トンほど減少している。不燃ごみは、平成30年度が約152トン、令和元年度が約184トンで、30トンほど増加し、合計では70トンほど減少している。不燃ごみの収集回数を増やしてほしいとの要望があり、収集日が振替休日等にあたらぬようにして、月2回の収集日を確保するよう変更した。資源ごみのうち、容器包装プラスチックとペッ

問 昨年4月から帯広のくりりんセンターにごみを搬入しているが、その後の排出量に変化はあったか。
また、その結果を踏まえ、どのように取り組むか。

町長 「まちづくり計画」の中で、住民1人1日当たりのごみの排出量について、平成21年の820グラムを、令和2年には750グラムにする指標を掲げている。また、リサイクル率についても、平成21年の24・9%を、令和2年には28%にする指標を掲げているが、現在はそのようになっているか。

トボトルを合わせた量は、1月末現在、平成30年度が約98トン、令和元年度が約105トンで、7トンほど増加している。洗浄されていない容器包装プラスチック等が資源ごみへ分別されずに排出されることが、不燃ごみを増加させる要因の一つであるので、引き続き町民へ資源ごみへの分別徹底をお願いし、不燃ごみの減量に努める。

問 「まちづくり計画」の中で、住民1人1日当たりのごみの排出量について、平成21年の820グラムを、令和2年には750グラムにする指標を掲げている。また、リサイクル率についても、平成21年の24・9%を、令和2年には28%にする指標を掲げているが、現在はそのようになっているか。

町長 住民1人1日当たりのごみの排出量は、平成28年度に872グラムとなっているが、この年は台風10号による水害被害によりごみの量が増えている。平成27年度は840グラムであった。リサイクル率は、28年度が25%、27年度が25・7%となっている。「まちづくり計画」の目標指標の達成を目指し、今後もごみの減量化や資源分別の徹底などに継続して取り組む。

問 生ごみのコンポスト利用、段ボール箱での堆肥化、EM菌を使った処理など、町発行の「ごみ分別ブック」に載っている生ごみ減量化の実践を推進してはどうか。

町長 可燃ごみの中で大きな割合を占める生ごみを減らすためには、町民の理解と認識を高めてもらうことが必要。情報収集や周知を行い、必要な支援等についても検討する。



コンポストの利用などにより、生ごみの減量化を

町政を問う！

一般質問

3月定例会では8人の議員が15項目にわたり一般質問を行いました。質問と答弁は要約して掲載しています。

一般質問とは
議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。
清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



中河 つる子 議員 9ページ
1 ごみの減量と生ごみの資源化について



桜井 崇裕 議員 10ページ
1 本町農業の現状と将来像について



口田 邦男 議員 11ページ
1 各種交流の現状と今後について
2 農業用水の今後



山下 清美 議員 12ページ
1 防災対策について
2 障がい者支援について



佐藤 幸一 議員 13ページ
1 しみず温泉フロイデ案内看板の撤去について
2 協働のまちづくりについて
3 公衆浴場の管理について



鈴木 孝寿 議員 14ページ
1 新型コロナウイルス感染症における本町の対策について
2 ふるさと納税の停滞について
3 結婚・少子化対策について



川上 均 議員 15ページ
1 小中学校教職員の働き方改革の取り組みについて



高橋 政悦 議員 16ページ
1 本町における消防組織の現状について
2 地域おこし協力隊について